

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		日常生活で個々の残存能力を生かしきれていない、またセンター方式を一部取り入れているが、いまいち生かし切れていない、職員の理解もばらつきがある。ケアプランに基づいたケアの実践、それに伴った記録についてもやや弱い。	利用者個々の能力に応じた役割をもち、プランにも盛り込み、記録、評価を行う。	ユニットリーダーが呼びかけて、担当者が中心になって役割や目標を計画し実践評価する。内容によっては個別機能訓練としても計画・実践する。センター方式の意味を理解し、利用者自身の気持ちに沿った、わかりやすく、有意義なプランを作成し実践する。評価もわかりやすく何をもって良しとするかなど、次のプランにしっかりと生かせるようにする。	6ヶ月
2		施設イベントを通して地域交流は図れているものの、地域に向くことがない、地域密着型施設として地域での利用者を含めた役割がもてていない	まずはグループホーム連絡会を通して施設間交流としてイベントお祭り等にお互い招待及び参加を行う。近隣との学校・自治会との連携を図り、できそうなことを見つけて行う。	グループホーム連絡会にて具体的な打ち合わせを行い、イベントを通しての来て頂くだけでなく、お伺いする形で参加し他施設との交流の機会を作り、新たな刺激、喜びを感じて頂く。自治会・学校の行事に利用者も含めて何らかの形で参加、協力を行う。	1年
3					1年
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。